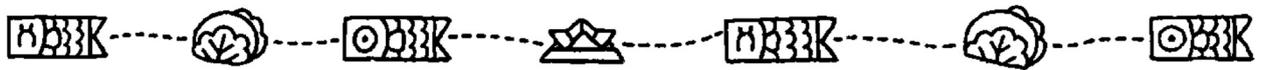


2022年度 5月号
尚徳福社会 おぐら保育園

気持ちの良い暖かい陽気が続き、ようやく本当の春がやってきたようです。

少しずつ子どもたち一人一人の個性も見え始め、クラスの色も出始めてきました。しっかりとした意思を持ち始めることで、友だちとぶつかることも多くなることと思いますが、子どもたちで乗り越え解決する力、言葉にして伝える力、相手の気持ちを考える力、その場に合った行動を考える力を引き出せる1年にしていきたいと思います。



☆ゆりぐみになって☆

保育園で一番大きいお兄さんお姉さんになって1か月が経ちました。砂場のシート掛けやお花の水やり、下の子のお世話など、去年の年長児に教えてもらったことを意欲的に行っています。

お当番活動を楽しみにしている姿があり『今日は誰かな?』『明日は誰かな?』と期待して、お当番になると【お当番バッチ】をつけて自信に満ち溢れています。給食前にはテーブルを拭いたり、ゴミが落ちていたら拾ったり、トイレのスリッパを揃えたりと『お当番は忙しいねー』と話しながらも積極的に行っていました。

☆お散歩 ☆

朝、数名のお友だちに『今日はお散歩に行くよ』と伝えると『今日お散歩だって』と嬉しそうにお友だちに教えていました。散歩に行く前には【道路での歩き方】など再度知らせていくと『知ってるよ、だって〇〇だから』と理由まで答えてくれました。公園に着くとかけっこをしたり、たんぼぼやわたげを探したりと夢中になっていました。草花を探している最中にダンゴ虫やアリを見つけると『みんなきてきてー』と友だちに教え大興奮の子どもたち。さまざまな虫や草花を発見し、自然との触れ合いができました。

☆ホール遊び☆

ホールで遊ぶのが大好きな子どもたち。マットとボールを用意するとマットで家を作り始めました。壁と屋根を作ると『秘密基地みたいだね』と基地の中に隠れていると、一人のお友だちが『オオカミだぞー』と基地の外からオオカミになりきって登場して、そこから【3匹のこぶた】の劇が始まりました。一人一人役になりきってオリジナルストーリーで話が進んでいき最後オオカミは鍋でグツグツ煮えるのではなく『かわいそうだから』ということで、3匹のこぶたとうたをうたってお話が終わりました。

☆こいのぼり制作☆

こいのぼり制作が始まると『屋根よーりたーかーい♪』と歌う姿が見られました。まずは、折り紙を一回折り、ハサミで切り込みを入れ開くことできる模様をうろこにしました。保育者がまずやってみると『えーどうなるんだ?』『すごーい』と切った折り紙を開く時の期待感や、模様を見た時の自分もやってみたいという姿がありました。また、吹き流しも作り『なぜ5色なのか?』の由来も話しました。難しい話でしたが子どもたちは『魔除けなんだよ』とまだ知らない友だちに教えていました。ハサミを使ったり、のりを使ったりと工程がたくさんありましたが、個性豊かな【こいのぼり】が保育室を気持ち良さそうに泳いでいます。

